



LONGIN

We create in Tokyo Japan since 2011

WEB MAGAZINE Vol.

17

風の壁をも貫く飛距離と
 荒れた状況下でも粘り続ける
 泳ぎはクラス最高峰!



NEW



LEVIN
 HEAVY

レビンヘビー 95mm 28g 1,600円+税

GREED ゴールド

70mm 30g 830円+税
 76mm 40g 880円+税



NEW

突き詰めた基本性能は、
 強欲なまでに
 魚を捕獲する!



弊社ルアー解説動画 WEB にて好評配信中です!

LONGINビルダー伊藤が作り上げたジグ グリード 徹底解説

岸ジギテクニック編



グリードを使った岸ジギのハウ
ツを、ロンジンテスター山
内氏が解説! 岸ジギの奥深さ
から、あと1匹多く釣るための
テクニックまで網羅している保
存版の解説書だ。

Text by 山内勝己

シーバスと言えば、今ではソルトウォーターゲームの代表的なターゲットといっても過言ではないと思いますが、その理由の一つに「高いゲーム性」というのがあげられます。

このゲーム性というのを、例えをあげて解説しようとするとかなり多くなってしまいますが、ゲームを成立させ、釣果に繋げるためには様々なパターンやメソッドがあります。それらを一つ一つ知り、学び、覚え、また精度をあげることで間違いなくそれらが釣果に直結していきます。

この釣果に繋げるということに対して、圧倒的な爆発力を持ち、そしてシーバスとの迫力あるファイトのダイレクト感を味わえる釣法……。それは、私の中で一番ではないかと思う釣りが『岸壁ジギング』（以後『岸ジギ』）です。

イージーかつ奥の深い岸ジギゲーム

この岸ジギという釣りは、岸壁や柱など縦のストラクチャーに対してジグを落とし、そして巻き上げる。この一連の動作を繰り返し、縦の誘いでシーバスのバイトを誘う釣り方なのですが、動作としては単調な釣りなので、覚えてしまえば数釣りでは最強の釣法だと私は思います。





先に単調という言葉を使いましたが、実は奥も深くゲーム性としても楽しめる釣りであり、またベストシーズンが春から夏にかけてのデイゲーム。ここで一つ考えてみていただきたいのですが、夏というシーズンはフィールドにもよりますが、シーバスゲームにおいて釣果が落ちる、そんなイメージを持つアングラーも多いかと思います。

そんなシーズンに最適なのが、数釣り最強のこの釣りです。ぜひ覚えて試していただきたい、それが岸ジギなのです。

ここまで、岸ジギとはどんな釣りかについて簡単に書かせて頂きました。ここからは使用するルアーに求められるもの、実戦でのキモ、そして今回の記事の目玉ともなるLONG INニュールアー『グリード』の開発にあたってのコンセプトなどもあわせながら解説しましょう。

岸ジギの基本アクション

まず、使用するルアーはジグになります。今までも岸ジギに使用できるジグは数多くありますが、岸ジギに特化させてきたジグというのは、正直かなり数は少ないのではないのでしょうか。グリードはもちろんキャスト

ングの釣りでも効果を発揮しますが、ここの岸ジギにもこだわってテストしてきました。

岸ジギで使用するジグに求められる物は大きく分けて二つ、それはバイトが出るタイミングに繋がるのですが、それは、



テスター村松氏もプロト段階から釣果連発！ この魚は入れ替わり投げ倒された後にひねり出した気持ちの良い1匹だ。

A. ジグが落ちていく「フォール」のとき

B. ジグをシャクリ巻き上げてくる「巻き上げ」のとき

の二つになり、これらの動作の中でジグ自体の性能も大きく関わってきます。ここからは岸ジギで重要なフォールと巻き上げの2点について解説します。

フォールと巻き上げのキモ

○ジグのフォール

フォールは岸ジギの最初のアプローチとなり、このフォール時のバイトをどれだけ拾えるか？ これが釣果に大きく関わってきます。

フォール中のバイトは「コンッ！」とロッドに伝わるバイトで、そのときすぐにアワセを入れるのですが、このダイレクトに伝わるバイトも岸ジギの魅力の1つです。フォールでのアプローチのキモとジグに求められることは、3つあります（次ページカコミ参照）。

フラッシングでのアピールを良くするための面、そしてフォール時の軌道がずれないようにするための微妙なセッティングでのアクション。そしてヒラヒラ、ユラユラとした小さなアピールのアクションでもバイトを取りやすいように変更を重ねました。また、小さなバイトでもしっかりと拾えるアクションということにもこだわり、絶妙なバランスの仕上がりとなっております。

ります。

○ジグのシャクリ、巻き上げ

シャクリ、巻き上げと巻きのアプローチでのバイトをしっかりと拾えることも、実は釣果アップの大きなキモとなります。

先にも書きましたが、フォールのバイトをしっかりと拾うことが岸ジグの基本的なキモなのですが、その日の状況によっては巻きの反応のほうが良いときもあります。



ベテランだけでなく、コツさえわかれば初心者でも日中に釣果が出せるのも岸ジグの利点。

【ジグのフォールのアプローチとキモ】

①岸壁や柱など壁となる縦のストラクチャーにいかにか近づけてジグを落とせるか！？

これに関しては、ジグと壁との距離が開けば開くほどバイトの数は大きく減少します。状況が渋いほどこの差は明確に出ることが多く、釣果を伸ばすためにはジグがしっかり狙ったところに極力真っ直ぐの軌道で落ちてくれなくてはなりません。

②フォール中のバイトについて

これは「ゴン！」と明確に出る時もあれば、「ツン……」と小さいバイトのときもあります。ときにはラインテンションを目視で確認し、糸ふけでの変化でバイトを拾わなければならない場面もあり、その日のシーバスの活性などでバイトの出かたは変わってきます。ここでもジグに求められるのは、しっかりと素直にフォールしてくれるということです。

③先の二つで共通している、しっかりと狙ったところに対して真っ直ぐとしたフォール、そして、バイトを拾いやすいように素直なフォール。いっけんこの2つを見るとアピールが無いのでは？ そう思われるかもしれませんが、ここがテストで苦労したことのひとつであるとともに、グリードのこだわりの1つでもあります。

ハイシーズン以外も釣果を伸ばす!

例えば、私がホームとする千葉県内房エリアでは春先からが岸ジギの有効なシーズンとなります。シーズン序盤は、正直ジグを落とせば簡単にバイトしてくるような状況が多いです。しかし、そのようなときでも釣り方やジグによって釣果の差はでます。シーズン終盤になると、新しい群れが入って来たとき以外はバイトが減り、岸ジギシーズンも終わりかな……なんて思われるアングラーも少なくないでしょう。



テスト中には黒鯛もよく釣れた。ほかに根魚、ヒラメ、青物など、岸ジギだけでなくキャストイングの釣りにも強いジグだ。

これはどうしてかという、シーバスがスレてきたり、海の状況が変わったためにバイトの出かたが変わってくるからです。そこで意識してほしいのが「巻きの釣り」です。基本的なフォールのバイトを拾うというのはもちろん大切で

【岸ジギのアクションとタダ巻きについて】

①ジグが着底してから、ロッドをシャクリながら誘う!

このシャクリも小刻みにシャクリアクションさせる場合と、ゆっくりとスローテンポでシャクリ、アクションは大きく分けてこの二つのパターンとなります。

このアクションにも、グリードにはキモが入っております。それは「シャクったときの程よい抵抗感」です。小さなシャクリでもしっかりとジグが暴れ、それに伴いフラッシング効果も上がりバイトを誘うのです。

この暴れに関しても、テスト中こだわり、苦労した点のひとつになるのですが、暴れが大きすぎるとラインがフックを拾ってしまい、よく言うエビ状態になってしまいます。

また、アクションを出すために抵抗を強くしてしまうと、シャクったときに重みが増えて疲れてしまいます。アクションをしっかりと出しつつ、程よい巻き抵抗、そしてフックがラインを拾わない幅。このバランスを保つために、最終的なテスト段階でも微妙に異なる多くのサンプルを作りテストしました。これに関してはビルダーの伊藤さんも苦労した点ではないかと思います。

②巻きの誘いではジグをシャクリ、アクションをつけて誘うのが基本だが、タダ巻きが有効な場面がある！

これに関しては、私の岸ジギテクニックの中でもよく使うメソッドなので、本当は公開したくなかったりもします（笑）。ですが、このタダ巻きでのアプローチも、グリードのコンセプトの中で大きなキモとなるので紹介します。

タダ巻きは、その名の通り着底からジグをシャクラず巻き上げてくるのですが、速巻きでバイトがでたり、巻き上げたジグを水面から出さずに再びそのままフォールさせることでジグの軌道が変わったときなど、何度もジグを見せることでシーバスの捕食スイッチを入れバイトに持ち込ませることが可能です。これは、シーズン終盤やシーバスがスレているときに特に有効で、周りの人にはバイトが無いのに、自分はバイトが得られる場面も少なくありません。

タダ巻きが釣れる状況はというと、スレているときに派手なアクションが逆効果な場面ですね。また、フォール時にラインより先にジグがシーバスの目の前に到達するので、余計なプレッシャーをかけずに済むという点も挙げられます。

すが、巻きの誘いをしっかり意識することで、バイトの出かたは大きく変わります。

巻きの釣りの場合、シーバスの目の前にラインが先に通過してからジグとなりますから、ジグをシャクればラインによる水切り音でシーバスに余計なプレッシャーをかけてしまうことが有り、スレたシーバスはそれによって警戒し、直ぐに見切られてしまいます。

そこで有効となるのがタダ巻きです。ラインによる水切り音も最小限に抑えられ、ジグ本来のアクションで直接アピールする事が出来るのです。

グリードはこのジグ本来のアクションにも大きくこだわっています。実は、このキモはキャストゲームでも大きな武器へと繋がるのです。完成されたジグには、まさに伊藤マジックが込められているので、そのあたりも意識して遊んでもらいたいですね。



テスター遠藤氏はサーフからのキャストゲームでヒラメをキャッチ！



グリードの持つポテンシャル

ジグというルアーは見た目は鉛の塊なので、釣り自体も単調なルアーに見えると思います。私も正直、はじめはそのようなイメージを持っていたのですが、実はもの凄く繊細で、ルアーの持つポテンシャルの差が大きく出るルアーでもありました。この件に関しては伊藤氏の記事を読んで頂ければ、ジグというルアーの奥深さ、繊細なセッティングで大きく変わることの苦労話など、裏話も含めて楽しんで頂けると思います。

数釣り最強の岸ジギでは、その釣りに必要なコンセプトをしっかりと詰め込んだジグを武器に、またキャストゲームでは届かないボイル攻略や、飛距離が最優先の釣りの場面などで、グリードは効果を発揮してくれますよ！



山内勝己 (やまうち・かつみ)

千葉県内房をホームフィールドに、過酷な天候状況や動画撮影など無理難題、どんな場面でもシーバスをキャッチする超実力派アングラー！ロンジン立ち上げ1番最初のテスターである。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

ロンジンマガジン Vol.4

弊社製品取扱店にて絶賛配布中です！



今号はさらに大増ページをしたロンジンマガジン第4号！

新製品であるグリッドとレビンヘビー 28g の解説はもちろん、弊社テスター陣によるベイト別攻略法や河川での黒鯛攻略など記事も満載！ もちろんロンジンルアー全種のカタログ付き。巻末には全ルアー実寸サイズでも掲載！

ボリュームアップしたロンジンマガジンは、もちろん今回も無料配布！ 弊社ルアー取扱店全店にて配布していますので、店頭に無かった場合は店員さんに聞いてみて下さい！（弊社在庫があれば、お店へ送らせていただきます）。

ロンジンマガジンのご意見・ご感想もお待ちしております（HP アンケートよりお送り下さい）。

ロンジンマガジン Vol.4

配布価格：¥0（フリーペーパー）

版型：A5 版 52 ページオールカラー

発行：株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中
（数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい）



LONGIN

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

WEB MAGAZINE Vol.17

発行日：2015年3月10日

株式会社 LONGIN.